

2020年5月15日

「母の日」から見えるもの — 「熱烈な愛」 (赤いカーネーション) を心に受けて

副校長 竹山 幸男

5月も半ばとなりました。いつもとは違う静かなゴールデンウィークも終わり、日中の太陽の日差しもだんだん強くなってきています。晴れた日の日暮れには、夕焼けを背にした鴨川と京都タワーがとても美しく映えて、京都の街並みを暖かく見守っているようでした。ただ、ちょうど今が季節の変わり目で、夕方は、少し涼しさを感じられる日々が続いていますし、京都では、先週末はやわらかい雨も少し降っていました。学校の周りでは、つつじの花が満開を迎え、春から初夏に向かう日差しを受けて、赤やピンクの花の色が、より一層鮮やかに感じられる今日この頃です。皆さんのお住まいの地域では、日々どんな風景が見られるでしょうか。

「学習ポータルサイト」を用いた学びも4月から始めてちょうど1か月がたちました。私たちも生徒の皆さんもまだ慣れていない面も残っていると思います。学校としては、この新たな学びを基本に据えながら、各教科の学びの内容、生徒の皆さんとのやり取りの内容もさらに充実させていきたいと考えています。皆さんの中で、わからないことやご質問がある場合には、遠慮なく教科、担任の先生、ICT機器利用のヘルプデスクまでご連絡ください。

第6週目（5月18日～）は、第5週目に引き続き、これまでの動画を用いた課題の提示、提出、メールでの質問、教科によってはZOOMで皆さんからの質問を受け付ける時間を設けますので、生徒の皆さんも参加してみてください。あわせて、各学年の国語、数学、英語、社会、理科の先生方と生徒の皆さんとの面談（クラスまたはグループなどで）を行っていく予定です。各教科の担当の先生からの予定の連絡をしっかりと見ていただき、その指定された時間帯に面談に参加してください。（生徒の皆さんの参加確認も取る予定です。）1年生の皆さんに対しては、夏休みの自由研究の取り組みに向けた動画を見ていただき、夏休みの取り組みに向けての事前の準備を少しずつ始めていきたいと考えております。1年生の学習ポータルサイトの「自由研究」コーナーから動画を見ていただき、ロイロノートを用いて副校長あてレスポンス（提出）をよろしく願いいたします。

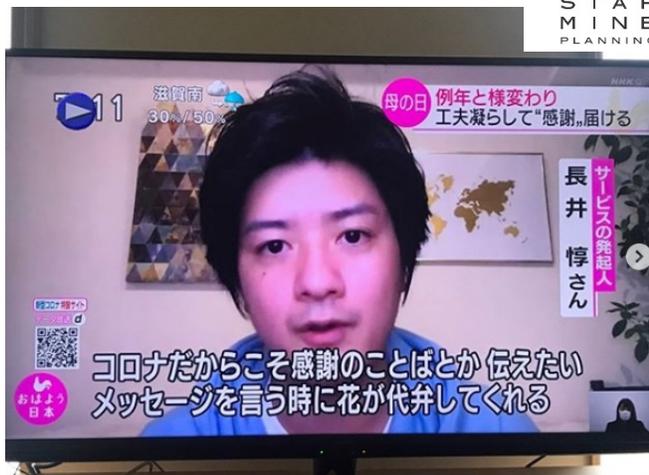
また、日ごろの担任の先生からの連絡へのレスポンス（応答）に加えて、担任の先生とクラスの生徒の皆さんとの面談が続けられています。すでに面談が終わった皆さん、これからの皆さんもあると思いますが、皆さんの日頃の様子などをぜひ知らせてください。健康観察については、引き続き保健室の先生あてご提出ください。第6週目の詳細については、別途ホームページ上の教務部より「第6週目のお知らせ」または学習ポータルサイト上の生徒ページ・生徒伝達に「第6週目のお知らせ」をご覧ください。機器（iPad）やアプリの使い方で不明な点が

あれば、「学習ポータルサイト」(→[生徒ページ]→[在宅学習サポート])にアドバイスや解決方法を掲載しています。また、「2020年度版ICT活用・情報倫理ハンドブック」(同志社中学校)の1~28ページに、課題提出で用いているロイロノート、zoomの利用方法を含め、iPadでの学習に際してのさまざまな活用ガイドが掲載されていますので、取り組みの際には、引き続き参照するようにしてください。

先週は、“GOOD SAMARITAN”のお話から「隣人愛」を考えてみました。そして、現在の厳しい状況の中で、医療や介護にあたられている方々のことを覚えて、お祈りするときも持ちました。同志社創業者・新島先生とのつながりとして、同志社看病婦学校、同志社病院のことを紹介しましたが、新島先生の妻となられた新島八重さんもまた、新島先生が召天されてから、社会貢献の一環として赤十字の取り組みの中で看護師としての働きをされたことが知られています。新島八重さんのことは、また別の機会にこのメッセージの中でも取りあげてみたいと考えています。

さて、今日は2020年の学校聖句(『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』『隣人を自分のように愛しなさい。』)について、前回のお話で少し紹介したもう1つの学校聖句「受けるより与える方が幸いである。」も心にとめながら、「母の日」から見えるものを皆さんと考えていきたいと思えます。

2020年の母の日。母の日にちなんでの贈り物ということで、お家で飾る素敵な花があったり、お母さんがもらって喜びそうないろいろものとその紹介がテレビのニュースでもなされていました。先週のニュース番組では、同志社中学校の卒業生で、花や緑を活かした空間プロデュース、イベントプロデュース、ディスプレイデザインなどで活躍されている、長井ジュンさん[STARMINE PLANNING (<https://www.starmineplanning.com/>) 代表]が出ておられました。感染症の広がりですさまざまな催しものや結婚式などを含めたお祝い



事なども自粛されているので、花を栽培する方々や花屋さんがとても困っているのですが、ちょうどゴールデンウィークや花の日もあわせて「#花で帰省しよう」という取り組みを始められたことが紹介されていて、多くの皆さんも利用されていてとても頼もしく思いました。

さて、今年で言えば5月10日ですが、毎年5月の第2日曜日に設定されている「母の日」の由来を皆さんはご存じでしょうか。実は、この「母の日」も、今から113年前の1907年、アメリカのキリスト教会で始められたもので、キリスト教とゆかりのある行事です。日本では、1913年に、同志社と同じキリスト教主義学校である東京の青山学院で、女性宣教師ファニー・W・アレキサンダー先生によってはじめて紹介され、戦後に社会に広がった行事とされています。

それでは、「母の日」の始まりとされる「お母さん」はどんな方だったのでしょうか。

アン・ジャーヴィスさん。1832年に牧師の娘として生まれ、当時の女性の健康衛生環境が劣悪なので、それを向上する社会運動に一生懸命取り組まれました。例えば、1858年には「母の仕事の日クラブ」を組織し、当時多くの子どもを育てながらも、病気で亡くなる子どもも多かったので、労働環境の改善と乳幼児の死亡率を下げる運動を始められました。アン自身も、13人の子どものうち4人だけが大人になるまで成長できました。また、1861年の南北戦争が始まってからも、敵味方にかかわらず負傷した兵士を助ける活動や、南北戦争が終わってからも戦争で傷ついた兵士やその家族を助ける働きとして「母の友情の日」を提唱したとされています。それらの運動を通じて、すべての母親をたたえる日の制定を望みつつもそれを実現させることなく、アンは1905年に亡くなりました。そして、彼女の娘のアンナ・ジャーヴィスさんが、その遺志を引き継いで、アンナが25年以上日曜学校の先生をしていたアンドリュース・メソジスト教会（ウエストバージニア州グラフトン）で、彼女の命日に近い5月の第2日曜日に記念礼拝を行ったことがもともとの由来とされています。翌1908年には、日曜学校の生徒と母親



(左) アン・ジャヴィス (右) アンナ・ジャヴィス

たちが大勢集まり、最初の「母の日」が祝われました。そして、娘のアンナさんから500人近い参加者全員へ、母・アンが好きだった白いカーネーションが贈られました。その後、アメリカの百貨店経営者として有名なワナメーカーもこの話を知り、シアトルの百貨店で「母の日」の催しを行います。そして、アンと同じく牧師家庭で育ったウイルソ

ン大統領もこのことを知り、アメリカでは1914年に祝日となったのです。



そして、「花の日」に贈られる花は、なぜカーネーションなのでしょう。まず、白いカーネーションが贈られることになったのは、キリスト教会で伝えられてきた十字架上のイエス様と母マリアとのお話があるからと伝えられています。イエス・キリストが十字架にかけられた日、それを見送る母マリアが流した涙の跡に、一輪のカーネーションが咲いたというお話です。白いカーネーションは、十字架にかけられる前のイエス様とマリアを、赤いカーネーションは、復活したキリストをそれぞれ象徴すると伝えられています。

また、聖書では、十戒において「あなた方の父と母を敬いなさい」という聖句もあり、イエス様自身も十字架上から母マリアを弟子のヨハネに託されたとされています。現在では、「母の日」のカーネーションとしては、赤いカーネーションが広く贈られているようです。



同志社の創立者・新島先生がアメリカに渡られたのは、1865年。「母の日」が制定される50年ほど前のことでした。新島先生にとっては、故郷・安中におられたお母さんだけではなく、新島先生の恩人となったハーディーさん、最初の高校での下宿先のヒドウンさん、プリントさんなどに本当にお世話になり、新島先生もとても慕っていました。後に、「アメリカの母たち」と呼ばれる女性たちの存在は、新島先生にとっても大切なもので、もし「母の日」が当時あったとしたなら、特別大きなカーネーションを、心を込めたメッセージにあわせてそれぞれに贈っていたのではないかと想像してしまいます。

赤いカーネーションの花言葉は「熱烈な愛」。現在、世界中に広がっているこの「母の日」の由来にも、神様からの「熱烈な愛」を受け、イエス・キリストの愛に満たされて生きたクリスチャンの母の姿、そして、その母を愛する一人のクリスチャン女性の姿があることを知りました。

そして、ここにも“GOOD SAMARITAN”のスピリット、つまり、アン・ジャーヴィスさんの取り組みの中に見られた心から心配し寄り添う思いや見返りを求めない親切な行動、無償の愛—「熱烈な愛」による具体的な行動を通じて、「真の隣人愛」を私たちに教えようとされています。（「受けるより与える方が幸いである。」（使徒言行録20章35節）の聖句は、「母の日」にもつながるものと考えられます。）

今年の母の日は5月10日。母の日からの2週間、わたしたちのお母さん、おばあさんへの感謝、私たちのお母さんのようにいつも見守ってくださっている周りの方々、これまでお世話になった方々への感謝、そして、楽しいときも困ったときも、寂しいときや心が騒ぐとき、どんなときにもお母さんのような温かいまなざしでいつもともにいてくださる神様に心を向けながら、静まって感謝のお祈りをささげてみてください。神様によって愛され生かされている私たち一人ひとりが、日々の生活、学びの中で、神様からの「赤いカーネーション」を受け取ることができますように、お祈りをしております。

「神は独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きようになるためです。ここに、神の愛が私たちの内に示されました。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛して、私たちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣しになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神がこのように私たちを愛されたのですから、私たちも互いに愛し合うべきです。」（Iヨハネ4章9節～11節：新共同訳）



* 「母の日」について紹介された動画をいくつかご覧ください（Watch on YouTube）

Happy Mother's Day Mini Movie - Mother's Day Video For Church | Sharefaith.com

<https://youtu.be/iov3te-mb6A>

Mother's Day Song: A Mother's Love- Gena Hill (Lyric Video)

<https://youtu.be/3V4PM1oL7Xs>

A Very Different Mother's Day

<https://youtu.be/I7V9Dd5Ue00>

A Very Different Mother's Day

This Mother's Day
Will Be Different
No Dinners Out
No Big Get – Togethers
No Shopping Trips

You May Be Feeling...

Anxious
Stressed
Trapped
Overwhelmed By The Daily Routine

And Neverous About The Future
You Can NOT Control This Situation

But...

You CAN Control How You Respond To It
You Can Be A Strong Woman of God
You Can Protect Your Family
You Can Be a Light in The Darkness

And, We All Want You To Know...

You Are Loved
You Are Appreciated
You Are Not Alone
You Are a Daughter of The King

We Pray That You Have A Very...
Happy Mother's Day

